

はじめに

静岡県は、輸送用機械や電気機械を中心に多彩な製造業が広がる、全国でも有数の製造品出荷額をあげるものづくり県です。県東部地域においては、静岡がんセンターとファルマバレーセンターが中心となり、地域の産学官金が協働しながら『ファルマバレープロジェクト（以下、プロジェクト）』を推進しています。

このプロジェクトは、静岡がんセンターの開院を契機にスタートし、静岡県の恵まれた資源を生かして、医療からウエルネスまで世界レベルの研究開発を進めるとともに、医療健康関連産業の振興と集積を図ることで、特色ある地域の発展を目指すものです。

これまでの取り組みにより、多くの地域企業が、高度な知見を必要とする医療機器等開発分野への新規参入を果たし、医療・健康・介護福祉に関わる事業化が実現しています。そうした背景を基に、本県の医薬品・医療機器の合計生産金額は、プロジェクト開始から常に全国上位を継続しています。その結果、県東部地域を中心に高付加価値産業が集積し、質の高い医療と癒しを提供する「医療城下町」が形成されました。

次のステップとして、「医療城下町」を基盤に、自然、住居、コミュニティ、文化等と経済成長の調和を重視しながら、超高齢社会においても人や企業に支持される理想郷「医療田園都市」の実現を目指します。「医療田園都市」の実現には、市町や企業・団体等の協力が不可欠です。そのため、産学官金の連携を強化し、これまで以上に協働してプロジェクトを推進して参ります。

本誌は、プロジェクトで展開する各種事業に資するとともに、特色ある地域企業の技術や製品等についてご紹介する営業活動のツールとして、地域企業間のネットワーク拡充を図り、富士山麓地域における医療健康産業分野の視野を広げることを目指して作成しております。

皆さま方におかれましては、本誌を医療機器等の試作をはじめ部品・部材調達が多様化、製造の外部委託化を図るための一助としてぜひご活用ください。

未来に挑む医療健康産業の推進 ファルマバレープロジェクト

【ファルマバレー宣言】

私たちは、患者・家族の視点に立ち、叡智を育み結集し、共に病と闘い、支えあい健康社会の実現に貢献することを宣言します。

世界一の健康長寿県

静岡がんセンター



健康増進・疾病克服

ファルマバレーセンター



県民の経済基盤の確立



方針

Policy Directions

静岡がんセンターを中心とする医療に関する研究と、静岡県医療健康産業研究開発センター（愛称ファルマバレーセンター）を中心とする医薬品や医療機器の開発を両輪に、医療健康産業の集積と振興を図り、世界一の健康長寿県の実現を目指しています。

▶ 提携先・ネットワーク Partner・Network



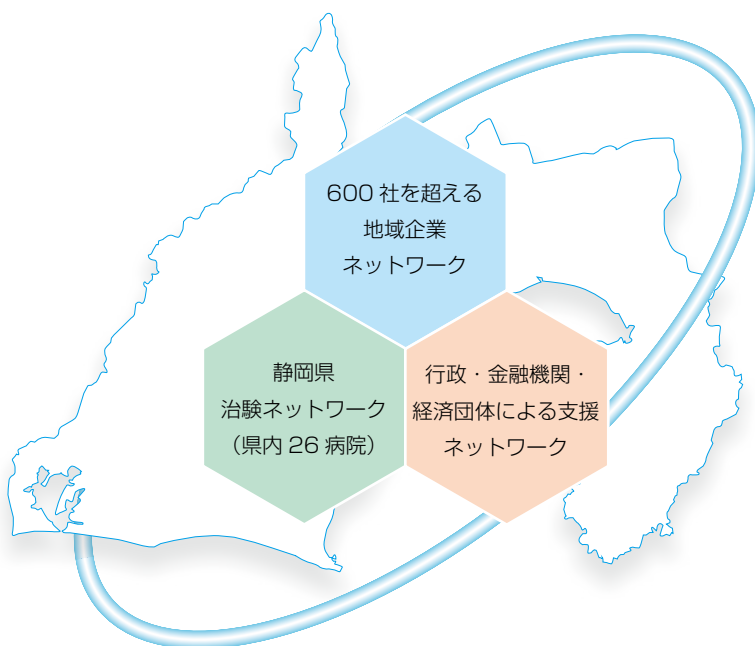
慶應義塾大学



東京農工大学



早稲田大学



静岡県立大学



沼津工業高等専門学校



国立遺伝学研究所

ファルマバレープロジェクトは、これまで実施してきた第1次～4次戦略への取組によって、静岡がんセンターは日本3大がん拠点の一つにまで育ち、患者に先端医療を提供するとともに、我が国では例を見ない患者・家族支援体制を築き上げてきました。

今後は、これまで培った知見に、世界から新しい技術や叡智を集めて、高付加価値な医療健康産業を集積し、住民の暮らしをより豊かにすることを通じて、「幸福度日本一の超高齢社会の理想郷」を目指します。

ファルマバレープロジェクトが取り組んでいること

ものづくり



1. スタートアップと地域企業の共創等による事業創造

- PVCを拠点としたスタートアップ等と地域企業との共同開発の促進
- 集中的伴走支援を通じたプロジェクトを象徴する企業の育成
- 医療健康分野での第二創業の促進やサプライチェーンの強化

2. 健康長寿・自立支援プロジェクトに関わるものづくりの推進

- ゲノム研究の成果等を活用した製品開発の推進
- 健康寿命の延伸に資する医薬品等の研究開発の支援
- 「自立のための3歩の住まい」に資する製品・サービス等の導出

3. ニーズに応える製品開発の促進

- 医療従事者と企業のマッチング強化

ひとづくり



1. 若年層人材の参画と育成

- 教育機関と連携した若年層人材育成
- 首都圏協定締結大学等との連携強化

2. 地域企業の人材確保支援

- 医療現場体験プログラムの実施
- 県内教育機関や大手企業と連携した中核人材の育成

3. 医療専門職の育成

- 静岡がんセンターを核とした質の高い育成プログラム

まちづくり



1. 医療田園都市構想の推進

- デジタル技術等を活用した暮らしの質の向上
- 医療健康産業の活性化と都市機能強化
- 医療の充実と健康寿命の延伸
- 地域資源を活かした魅力的なまちづくり

2. 地域と民間活力との共創

- 民間事業者や地域住民との連携手法の検討

3. 医療健康産業の誘致強化

- 県・市町が連携した企業誘致、流出防止

国内・海外展開



1. 総合特区等を活かした広域連携の強化

- 総合特区を活かした山梨県との連携強化
- クラスター間の広域連携

2. 高齢者ビジネス等の海外展開支援

- 医療・介護福祉機器等の国際展開
- 医療機関・アカデミアとの連携
- 品質管理システム等の整備支援

3. プロジェクト発の先駆的取組の発信強化

- 国内外への情報発信

公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構 ファルマバレーセンター

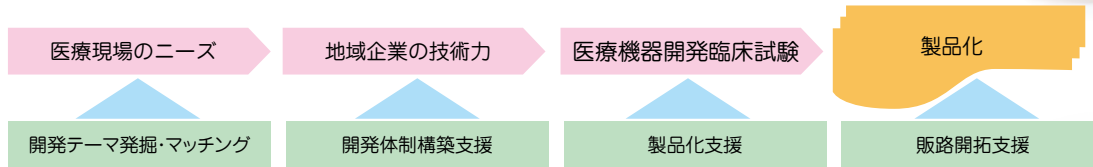
ファルマバレーセンターは、ファルマバレープロジェクトの中核支援機関として、静岡県や静岡がんセンターと連携し、地域の産学官金ネットワークを通じて、企業の医療健康産業への参入促進と、製品開発・事業化戦略策定などを強力にバックアップします。

●研究コーディネート

医療機関、大学・研究機関、地域企業などが連携し、患者や家族、医療従事者のニーズをカタチにするためにファルマバレーセンターは適切な機関とのマッチングを促進、研究活動をコーディネートします。

●医療機器開発

ヘルスケア・メディカル分野に参入するにはいくつものハードルを乗り越えていく必要があります。技術的アドバイス、薬事規制に関するアドバイスなど、経験豊富なコーディネータ、ラボマネージャーが伴走コンサルで課題解決に向けて支援を行います。



●創薬探索研究

所有する 12 万余の化合物ライブラリーを活用し、抗がん剤、抗ウイルス剤、体外診断用医薬品や新薬製造技術等の効率的な開発を行います。

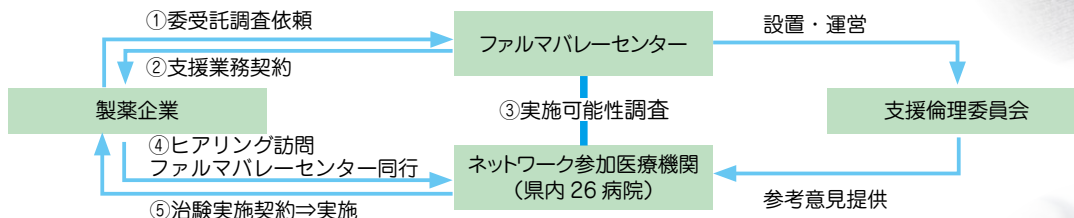
化合物ライブラリー (約 12 万余)	創薬研究	臨床研究
静岡県立大学創薬探索センター 静岡県環境衛生科学研究所	静岡がんセンター アカデミア、製薬企業など	静岡がんセンター 静岡県治験ネットワーク

●人材育成

コーディネータなどの産業支援人材の育成や人材間のネットワークを強化します。また、セミナーや研修会、人材養成プログラムなどを企画・実施し、医療現場のニーズを実現できる高度な技術者や研究人材・経営者を養成します。
※情報はメールマガジンで随時配信いたしますのでぜひご登録ください。Web サイトでもご確認いただけます。

●治験・臨床研究

独自に構築した静岡県治験ネットワークを活用し、治験や臨床研究を推進しています。



●販売促進

ビジネスチャンスを獲得するため、展示会・イベントへの出展支援を行います。



●静岡県医療健康産業研究開発センターの管理運営

同施設の指定管理者として、施設の運営管理及び入居企業間・地域企業との連携促進をサポートし、オープンイノベーションによる製品開発を進めています。

支援テーマ別窓口一覧

支援テーマ	内容	窓口	
相談したい	ヘルスケア・メディカル分野について、気軽に質問したい	ファルマバレーセンターホームページにある専門フォームにて、WEB上から直接ご相談いただけます。	ファルマよろず相談
	医療機器・医薬品を作りたい	常駐のスタッフが皆様のご相談に対応し、必要に応じて外部の専門家へおつなぎします。	事業推進部・コーディネータ
	ヘルスケア・メディカル分野の専門家に個別相談したい	アドバイザーによる個別相談会を実施しています。 ※事前申込制	事業推進部 (QMS等無料相談会)
新規参入・事業拡大したい	ヘルスケア・メディカル分野への参入にあたり、基礎的な知識を得たい	ヘルスケア・メディカル分野へ参入するにあたり、障壁となる薬機法や、具体的な事務について、医療機器産業研究所研究員や大手医療機器メーカースタッフが説明します。	事業推進部（医療機器ビジネス参入セミナー）
	ヘルスケア・メディカル分野への参入にあたり、具体的な指導をうけたい	ヘルスケア・メディカル分野への新規参入を目指す、またはすでに参入している地域企業の体制構築を目的に、専門家を事業所に派遣し、アドバイスをを行います。	事業推進部・コーディネータ（QMS体制構築支援事業）
	医療機器製造業について知りたい	医療機器を作る際に必要な製造業の登録について、アドバイス・支援を行います。	事業推進部・コーディネータ
	医療機器製造販売業について知りたい	医療機器を自社で売る（メーカーになる）際に必要な製造販売業の許可及び、許可時に必要な責任者等について、アドバイス・支援を行います。	事業推進部・コーディネータ
新技術・新商品開発に 取り組みたい	大学・各種研究機関と連携したい	常駐のスタッフが、皆様のご相談を聞き取りし、目利きをした上で、大学・各種研究機関との共同研究等をコーディネートします。	事業推進部・コーディネータ
	医療機関と連携したい	企業のもつ技術シーズと医療機関のもつニーズをマッチングし、共同開発の支援を行います。	事業推進部・コーディネータ
	入居企業と連携したい	入居するヘルスケア・メディカル分野に関わる企業とのマッチングを行います。	施設部・ラボマネージャー
	静岡県医療健康産業研究開発センターの研究開発室に入居したい	静岡県の公募により入居することができます。詳しくは静岡県新産業集積課へお問い合わせください。	静岡県新産業集積課・施設部
販路開拓をしたい	展示会・商談会に出展したい	主要都市及びファルマバレーセンターが主催する展示会・商談会への出展の支援を行います。	事業推進部
	企業集に掲載したい	ファルマバレーセンターが作成している企業の技術シーズ集「ふじのくにの宝物」に企業情報を掲載することができます（無料）。この技術シーズ集に掲載することでコーディネータによるマッチングの機会が得られます。	事業推進部
	メールマガジンに登録したい	ファルマバレーセンターからの情報提供を随時行っております。ヘルスケア・メディカル分野における最新情報を受け取ることができます（無料）。	事業推進部・総務部
資金調達をしたい	助成金を受けたい	補助金事務に長けたスタッフや、金融機関からの派遣スタッフによる、助成金申請書作成支援を行います。	事業推進部
	借入をしたい	ファルマバレープロジェクトに参画する企業のヘルスケア・メディカル分野に関わる運転・設備資金を対象に、最大0.67%の利子補給を受けることができます。 総合特区内で、医療機器製造のための工場新設や製品化事業などの設備資金を対象に、最大0.7%の利子補給を受けることができます。上段、成長産業分野支援資金との併用も可能です。	事業推進部（成長産業分野支援資金） ふじのくに先端医療総合特区利子補給制度

•WEB アクセス

<ul style="list-style-type: none"> ファルマバレープロジェクトについて http://www.fuji-pvc.jp/project/ ファルマバレーセンターについて http://www.fuji-pvc.jp/center/ 静岡県医療健康産業研究開発センターについて http://www.fuji-pvc.jp/pharmabase/ 	<ul style="list-style-type: none"> ファルマよろず相談窓口はこちら http://www.fuji-pvc.jp/center/conference.aspx メールマガジン登録はこちら http://www.fuji-pvc.jp/strategy02/exchange/forum_member.aspx 	 
---	--	--

「自立のための3歩の住まい」

人生100年時代に向けて、1日でも長く、自分の力で暮らしたい。そのために…

「自立のための3歩の住まい」は、身体機能が衰え始めた高齢者が、安心・安全・快適に、自立した生活を送るための工夫と最新の機能・設備を備えた3歩から部屋と住まいの機能を考えた『居室』の提案です。

自立のための 3歩の住まい[®]

パソコンやスマートフォンから「自立のための3歩の住まい」が見学できるVRコンテンツをご用意しました。



モデルルームに設置された機器や設備、県内企業の開発製品をバーチャルツアーで是非ご体感ください。

「自立のための3歩の住まい」VR ツアー 公開 URL

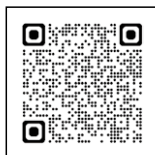
<https://lipronext-bp.sakura.ne.jp/kikuta/3pono-sumai/>



「自立のための3歩の住まい」の実装化にむけて

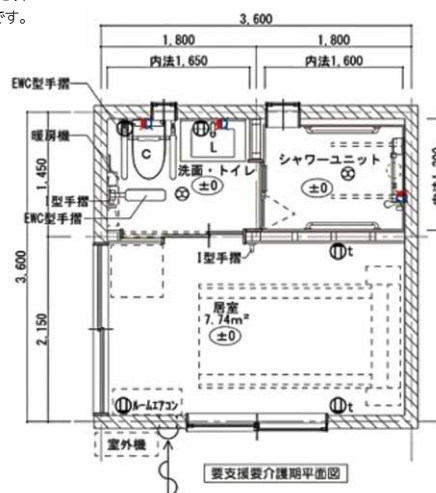
「自立のための3歩の住まい」を実装化する手段として、国土交通省住まい環境整備モデル事業を活用し、マニュアルを作成。高齢者と家族、その介護にかかわる人々、そして誰もが安心して暮らせるための住まい整備環境に取り組む設計者や住宅関連事業者等に住宅整備モデルを示し、その普及促進となる事を目的に制作しました。

『自立のための3歩の住まい』の特徴や、標準設計マニュアルはこちらでご覧いただけます



標準設計プラン 8畳 (約 12.94㎡) タイプ

「自立のための3歩の住まい」を実現する標準的な広さの8畳タイプです。居室面積 4.8畳 (7.74㎡) トイレ・洗面・シャワーが各々 1.6畳 (2.6㎡) で、健康期から介護が必要な要介護期まで、比較的ゆとりのある広さです。



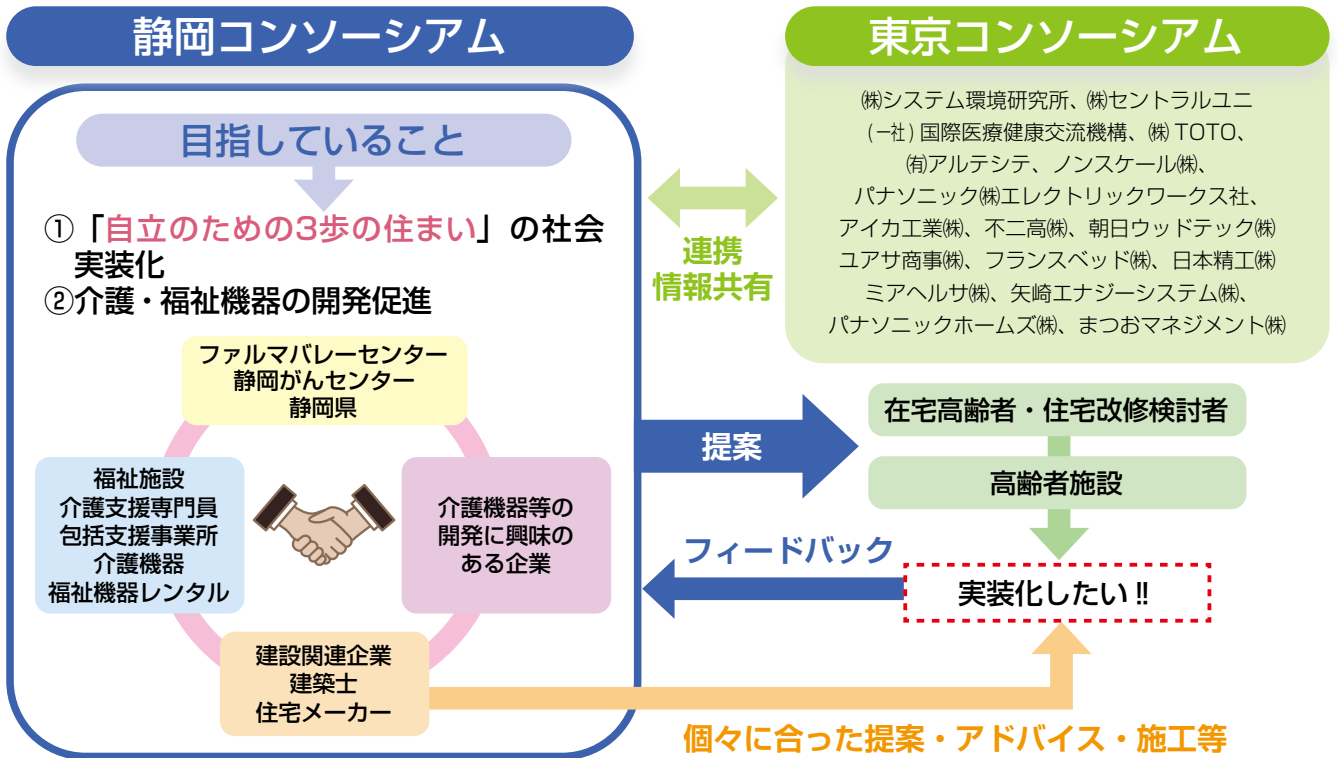
外部機関からも高い評価

日本最大級の住宅建築関連専門展示会「Japan Home Show & Building Show2025」(日本能率協会主催)にて、『みらいのたね賞』を受賞。住まいの標準化モデルとして社会的意義が大きい提案との評価を受けました。



静岡コンソーシアムとは？

「自立のための3歩の住まい」のコンセプトを広く普及させるため、住宅建築の関係者、介護福祉の関係者、支援機器開発等開発の関係者など、様々な分野の企業・団体様と共に安心・安全な住まいづくり（住環境）について考えるための異業種ネットワークです。



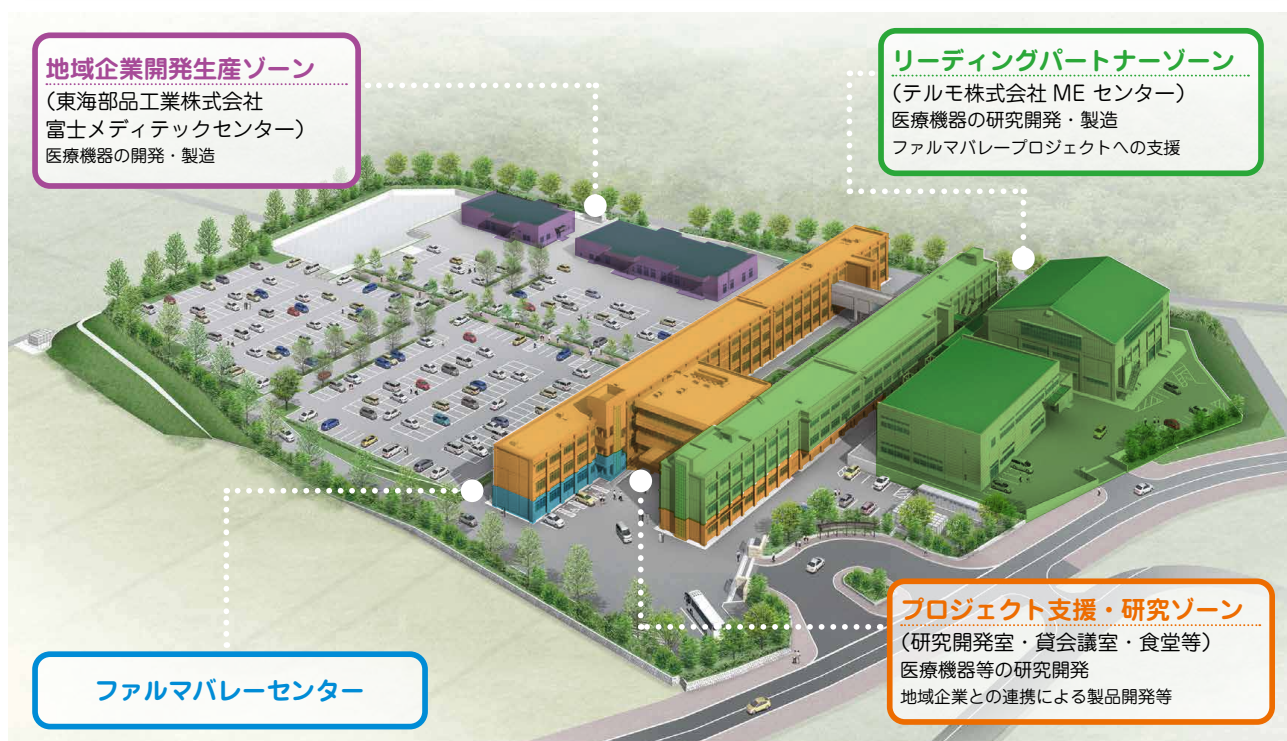
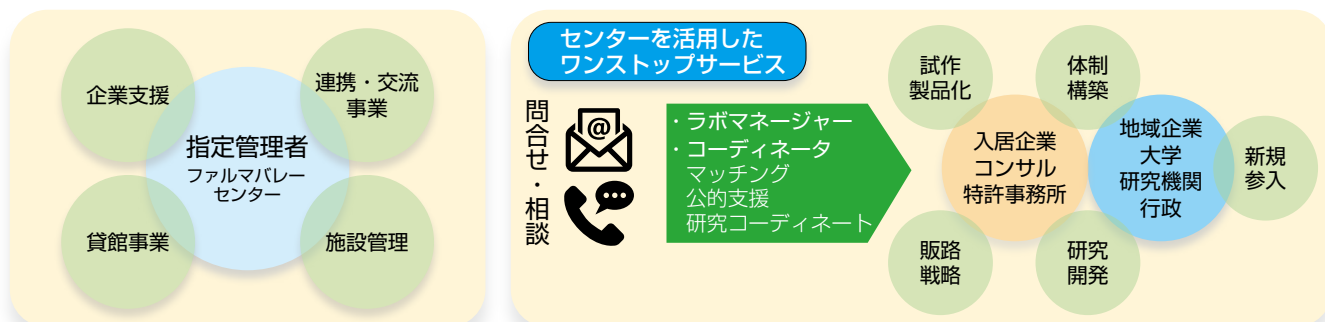
静岡コンソーシアム参加企業・団体一覧				2026年1月現在	
企業・団体名		所在地	企業・団体名		所在地
介護福祉	1 社会福祉法人美芳会	富士市	11 東工業株式会社	沼津市	
	2 有限会社しずき	富士市	12 株式会社加藤工務店	沼津市	
	3 公益財団法人介護労働安定センター	静岡市	13 株式会社後藤工務店	沼津市	
機器開発	4 株式会社アプト・マシンリー	函南町	14 株式会社平成建設	沼津市	
	5 粹然株式会社	沼津市	15 不二高株式会社	沼津市	
	6 シヤトコ株式会社	富士市	16 株式会社稲村建設	長泉町	
	7 株式会社アルコ	富士市	17 山本建設株式会社	三島市	
	8 株式会社トマト	静岡市	18 杉森建設株式会社	富士市	
	9 橋本エンジニアリング株式会社	浜松市	19 株式会社ユニバーサル	静岡市	
	10 やまと興業株式会社	浜松市	20 前向き住宅グループ	浜松市	
			21 株式会社リフテック	浜松市	
			22 かとう建築設計事務所株式会社	浜松市	
			23 バリアフリー住宅設計事務所	埼玉県	
			24 SBS マイホームセンター株式会社	静岡市	
			25 一般財団法人静岡県建築住宅まちづくりセンター	静岡市	

静岡コンソーシアムにご参加いただける企業・団体様を随時募集しております。

お申込みやお問合せは企画部までお願いいたします。 kikaku-pvc@fuji-pvc.jp

静岡県医療健康産業研究開発センター

ファルマバレーセンターは、医療健康分野の研究開発と地域企業の参入促進を加速するファルマバレープロジェクト拠点施設「静岡県医療健康産業研究開発センター」の指定管理者として、同施設の管理・運営を担っています。



入居企業概要		
エリア区分	入居企業名	事業テーマ・内容
リーディングパートナーゾーン	テルモ(株) ME センター	医療機器の研究開発・製造、ファルマバレープロジェクトへの支援
地域企業開発生産ゾーン	東海部品工業(株)富士メディテックセンター	医療機器の開発・製造
プロジェクト支援・研究ゾーン	オスフェリオンバイオマテリアル(株)	医療機器の研究開発（整形インプラント等）
	(株)ジーシー R&D	医療機器の研究開発（再生医療用コラーゲン製品）
	(株)サイタ・FDS	マイクロ波応用有機合成装置を用いた研究開発・事業化
	エトリア(株)	薬剤粒子製造技術の研究・開発及び事業化
	東海部品工業(株)	手術検査機器の研究開発・事業化
	(株)ネクストニュートンズ	薄膜センサーシステムの開発・事業化
	(有)トラス	炭素繊維を使用した医療機器の研究開発・事業化
	弁理士法人 樹之下知的財産事務所	知的財産に関する支援・コンサルタント
	オフィス長谷川（同）	薬事に関する支援・コンサルタント

貸会議室・ホールのご案内

3つのポイント

1 アクセス 抜群!
Access

東名「沼津 IC」
新東名「長泉沼津 IC」より
車で5～6分

2 ローコスト!
Lowcost

1時間 330円(小会議室)から。
※駐車場・貸出備品無料
数に限りがあります。

3 用途に合わせて 4サイズ!
Size

セミナーに、
会議に、研修に、
ご活用ください!



▲小会議室



▲中会議室



▲大会議室



▲交流ホール

会議室等区分	交流ホール 236㎡	大会議室 161㎡	中会議室 64㎡	小会議室 32㎡
人数の目安	スクール型150人	スクール型100人	スクール型36人 口の字型30人	スクール型20人 口の字型18人
利用料金	2,430円/時間	1,660円/時間	660円/時間	330円/時間

《料金例》

午前の利用 9:00～12:00	7,290円	4,980円	1,980円	990円
午後の利用 13:00～17:00	9,720円	6,640円	2,640円	1,320円
日中の利用 9:00～18:00	21,870円	14,940円	5,940円	2,970円
終日利用 9:00～21:00	29,160円	19,920円	7,920円	3,960円

※机の配列は一例です。 ※令和8年4月1日からの料金。貸出は時間単位です。本表の時間帯はモデルケースです。

利用申込みのご案内

ご利用者

ファルマバレーセンター

①空室状況の確認

電話・HPで空室状況をご確認ください

②仮予約の受付

電話・FAX・E-mailで仮予約を受付ます

③本申し込み

使用承認申請書に記入し、FAX・E-mailで送付ください

④ご利用内容の確認

用途等電話にて確認させていただく場合がございます

⑥利用料金お振込

支払期日までに指定口座に利用料金を前納してください

⑤使用承認書・請求書

申込み担当者様宛に書類を郵送します

ご利用日.....
センター北棟1階：指定管理者事務室にて使用承認書を提示してください

【予約受付日】

利用希望日の2か月前の初日より受付
(受付該当日が休日の場合は翌営業日)

【休館日】

土日、年末年始、センター休館日
(HP掲載のカレンダー参照)

【ご予約・お問合せ先】

(公財) ふじのくに医療城下町推進機構
ファルマバレーセンター
施設部 貸館担当
TEL：055-980-5534
FAX：055-987-5130
E-mail：kashikan@fuji-pvc.jp
HPアドレス：www.fuji-pvc.jp/pharmabase/hall/
受付時間：9：00～17：00

ファルマバレーセンター貸会議室

検索

CONTENTS

保有技術・地区別件数

主要保有技術	掲載数	市町別内訳															
		沼津市	三島市	富士宮市	富士市	御殿場市	裾野市	伊豆市	伊豆の国市	函南町	清水町	長泉町	小山町	(12市町外) 県東部	県中部	県西部	県外
開発設計・実装・組立	140	20	11	4	27	5	0	0	1	2	4	8	1	0	41	13	3
電子部品・デバイス	11	4	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
金属等・材料・加工	204	39	17	23	28	7	7	6	7	1	12	9	3	0	27	14	4
樹脂等・材料・加工	63	10	3	2	9	4	1	0	1	0	0	3	3	0	19	7	1
表面処理	25	2	1	2	3	2	2	0	0	1	0	3	0	0	6	3	0
ソフトウェア	18	10	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
介護・福祉	25	7	1	0	7	0	0	1	0	0	0	2	0	0	5	2	0
その他	140	16	7	14	36	5	2	2	0	3	4	4	1	2	28	6	10
計	626	108	44	46	113	23	13	9	9	7	20	30	9	2	126	47	20

保有技術別目次

開発設計・実装・組立 12～59

電子部品・デバイス 60～63

金属等・材料・加工 64～131

樹脂等・材料・加工 132～153

表面処理 154～163

ソフトウェア 164～169

介護・福祉 170～179

その他 180～227